

# 平成24年度 第9回 庁 議 要 旨

日 時：平成24年8月7日（火）

午前9時

会 場：庁議室

## [審議事項]

### 1 石巻市被災者見守りシステム事業の実施について（福祉部被災市民生活支援課）

本市では、震災以前から老人等緊急通報システム事業を実施しているが、現在、被災した独居高齢者世帯について、近親者が近くにいなかったこと等により、緊急時の対応について不安を抱えている高齢者や障害者が多数いることから、仮設住宅自治会連合会より、見守りシステム等について要望があった。

本市としても、応急仮設住宅（みなし仮設含む）及び在宅被災者世帯における独居高齢者等の緊急時の不安解消を図るため、新たなシステムの導入と既存システムとの比較等を実施して検討を行ってきた結果、将来的な財政負担や恒久住宅移転後における対応等から、既存システムの拡充による見守りシステム事業を実施しようとするもの。

#### (1) 主な内容

##### ① 実施の基本的考え

・後年度における事業の継続性を図るため、既存事業（石巻市ひとりぐらし老人等緊急通報システム）と同様の事業形態（警備会社委託）とし、対象者要件を拡大し、被災した一人暮らし高齢者世帯等の不安解消を図る。

##### ② 対象者要件：65歳以上の一人暮らしで、次のいずれの条件も満たす者

・応急仮設住宅（みなし仮設を含む）入居者または半壊以上の世帯  
・被災のため日常生活上不安のある者

##### ③ システムの内容（既存事業と同じ）

・緊急通報：利用者が緊急通報装置の緊急ボタンを押すことにより委託業者に通報し、委託業者は協力員（近親者、民生委員等）と連携し、安否確認を行う

・見守り：人感センサーが24時間以上感知しないときは委託業者が電話し、応答がない場合は協力員と連携し、安否確認を行う

##### ④ 事業実施予定時期 平成24年10月中に申請受付の実施を予定

### 2 青年就農給付金交付制度の創設について（産業部農林課）

農業従事者の高齢化が急速に進展する中、持続可能な力強い農業を実現するためには新規就農者を増加させる必要があることから、経営開始直後の経済的な不安を解消し、青年の新規就農者を確保することを目的に、国において新規就農総合支援事業が創設され、その中で青年就農給付金が交付されることとなった。

この青年就農給付金には、就農に向けた研修を受ける者等を対象とした準備型と、独立・自営の新規就農者を対象とした経営開始型があり、国の制度上、準備型は県が、経営開始型は市町村が事業実施主体となっており、本市として地域農業の維持発展を図るため、青年就農給付金交付制度を新たに創設しようとするもの。

#### (1) 主な内容

##### ① 交付対象者：農業経営者になる強い意欲を有し、原則として45歳未満の新規就農者で、以下の要件を満たす者

・農地の所有権又は利用権を有しており、原則として、利用権は親族以外からの貸借であること

・主要な農業機械・施設を所有又は借りている者

・生産物や生産資材等の出荷・取引名義を有していること

- ・農産物等の売上や経費の支出などの経営収支の帳簿、通帳を有していること
- ・農業経営に関する主宰権（経営権）を有していること
- ・平成 20 年 4 月以降に農業経営、親元就農を開始した者

② 内容

- ・経営開始計画を作成し、市長の承認を受けた者に対し、年間 150 万円を最長 5 年間給付するもの

**[報告事項]**

**1 宮城県後期高齢者医療広域連合規約の変更について（健康部保険年金課）**

出入国管理及び難民認定法及び日本国との平和条約に基づき日本の国籍を離脱した者等の出入国管理に関する特例法の一部を改正する等の法律が、平成 24 年 7 月 9 日に施行され、外国人登録法が廃止されたことに伴い、宮城県後期高齢者医療広域連合規約を変更するため、石巻市議会の議決を得、宮城県後期高齢者医療広域連合と協議するもの。

(1) 主な内容

① 変更内容

- ・広域連合の経費に掛かる関係市町村の負担金の額の区分（人口割）から、外国人登録法に係る部分を削除する

**2 石巻市立高等学校の校名の決定について（教育委員会学校教育課）**

教育委員会では、平成 27 年 4 月に石巻市立女子高等学校と石巻市立女子商業高等学校を統合する、新市立高等学校の校名を一般公募し、校名選考委員会において選考を重ねてきた。

応募総数 503 件、253 種類の校名案から、校名選考委員会において最終的に 4 案に絞り込み、この 4 案を教育委員会で審議のうえ、1 案を選定した。

(1) 主な内容

① 新校名 「石巻市立桜坂（さくらざか）高等学校」

② 選定理由

- ・「桜坂」という名称は、簡単で読みやすくわかりやすいこと、学校の所在地である日和が丘は、桜の名所として多くの市民に親しまれ、立地の状況を端的に表していること。
- そして、桜を使った校名の応募が多い中でも、独創性があり、新しい女子高のイメージが想像されやすいこと、国内で他に使用例がないこと等から選定した。

**[その他]**

**1 東日本大震災災害検証報告書について（総務部防災対策課）**

東日本大震災による災害状況に対する防災体制及び災害対応状況について、東北大学大学院工学研究科附属災害制御研究センター（現東北大学災害科学国際研究所）の助言をもらいながら、本市職員、消防署職員、警察署職員、医療機関、自主防災会長等の地域住民のヒアリングによる調査を実施し、検証を行った結果をとりまとめ、東日本大震災災害検証報告書として各部に配付した。

これらの検証結果を踏まえ、今後、石巻市地域防災計画の見直しに反映させるとの報告が、担当課長からあった。

以上